

平成 29 年度静岡市協働パイロット事業実施報告書

1、事業のタイトル

静岡市を日本一災害に強い福祉施設のあるまちに

2、事業の目的・趣旨

2017 年の水防法、土砂災害防止法の一部改正による要配慮者利用施設の避難確保計画策定と訓練実施の義務化を受け、静岡市内の要配慮者利用施設の風水害対策を促進することを目的に、風水害対策チェックスタートブックを作成。

作成した冊子をしっかりと活用するために、介護保険課、障害者福祉課が実施する集団指導や実地指導で活用する。

3、事業期間 平成 29 年 8 月～平成 30 年 3 月末

4、実施場所 静岡市内

5、事業実施内容の報告

月日	内容	会場
8 月 16 日	チェック項目の検討	老健こみに
8 月 23 日	打ち合わせ（全体の構成について相談）	市役所（危機管理総室）
9 月 26 日	チェック項目の検討（各自振り分けの共有）	老健こみに
10 月 6 日	打ち合わせ（チェック項目の確認）	市役所（市民自治推進課）
10 月 12 日	チェック項目とデザインの打ち合わせ	老健こみに
11 月 10 日	チェック項目とデザインの打ち合わせ	老健こみに
1 月 9 日	打ち合わせ（内容の確認）	市役所（市民自治推進課）
2 月 7 日	打ち合わせ（内容の確認）	市役所（市民自治推進課）
2 月 21 日	介護保険事業所 集団指導	グランシップ（約 1,000 人参加）
3 月 12 日	障害者支援事業所 集団指導	グランシップ（約 300 人参加）
3 月 13 日	打ち合わせ（完成報告等）	市役所

6、冊子の規格

大きさ：A 4 色：フルカラー 形：中綴じ冊子 ページ：24 ページ 部数：500 部

7、冊子の概要 ※詳細は添付の冊子参照

決める、備える、訓練内容の3つの視点で事業所の対策を評価する。

各項目、太字は推奨とし取り組みを促す。また、各項目の割合をレーダーチャートに落とし込むことで現状を可視化することができる。

8、本事業の成果

静岡市内洪水による浸水、土砂災害警戒区域、特別警戒区域にある入所系事業所は少なく見積もっても101事業所(5490床) ※別紙集計より病院を省いた数

あり、多くの高齢者や障害者等要配慮者がリスクをもったまま生活していた。水防法や土砂災害防止法の一部改正により避難確保計画と訓練実施の義務化に合わせて本冊子の配布。同時に冊子を活用した集団指導や実地指導での活用により多くの事業所の取り組みが促進される。また、実地指導で継続して確認していくことで、毎年の取り組み状況の把握や積み重ねができるようになっており、年々対策が進むことが期待できる。加えて停電時や断水時、人で不足時の対応などの項目は結果事象として地震など他の災害にも応用できる項目となっているため、地震災害のBCP(事業継続計画)の導入としても効果を期待できる。一方、汎用性の高いチェックリストのため、個別の案件への対応が弱いなどの課題が残る為、その点は次年度の取り組みでフォローしていくことでよりレベルの高い対策へとつなげることが可能。

9、実施後の課題について ※別紙参照

この冊子の使い方

この冊子は、静岡県BCP研究会のBCPチェック項目「Standard 3(スタンダードスリー)」に基づいて構成されています。スタンダード3は「決める」「備える」「訓練」の3つの項目でチェックする事でマニュアルの内容ではなく事業所の災害対応能力を評価します。同時にマニュアル作成や防災用品の購入、訓練の内容などの目安としても使用できます。

【見本】太字は推奨、各項目1点。

決める*標準化、マニュアル化		備える*設備、道具、その他		保管場所		回数等	
行政への報告内容と方法	<input checked="" type="checkbox"/>	連絡先一覧 (行政、関係団体、利用者家族等)	事務所	1つ以上	<input checked="" type="checkbox"/>		
関係団体への報告内容と方法	<input type="checkbox"/>	消防機器(電話、PC、無線、その他)	事務所	1つ以上	<input checked="" type="checkbox"/>		
—	<input type="checkbox"/>	ネットワークシステム		1つ以上	<input type="checkbox"/>		
—	<input type="checkbox"/>						
点数		点数		点数		2	

訓練内容(管理・点検)		H29		H30		H31	
報告訓練(年1回)	<input checked="" type="checkbox"/>	1/2	2/3	1/1	4/6	/6	/6
—	<input type="checkbox"/>						
—	<input type="checkbox"/>						
点数	1						

1. 各項目出来ている所を
2. 合計点を各項目の点数、各回のボックスに記入
3. 各項目の合計点を定めて各のボックス欄に記入する。

要配慮者利用施設イメージ

入所系	学校・保育園・幼稚園 公共の施設 通所系
病院	診療所・クリニック

今年度実施の内容

対象：要配慮者利用施設のうちの入所系施設

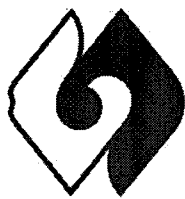
災害種別：風水害

内容：集団指導や実地指導で活用できる冊子の作成により各施設の対策を促す

課題と対応策（案）

- ・対象や災害種別が限られておりフォローできていない部分が残る
 →地震編のチェック冊子の作成（ISO22301に合わせた静岡市版）
 →在宅については介護保険（ケアマネ）障害者福祉（相談員）の計画に災害の対策について位置づける
 （ケアマネ協会や障害者協会等の協働も可能性あり）
- ・冊子だけでは具体的な対策まではわからない。
 →事業所への専門家派遣制度
- ・トツプの関与やインセンティブが無いと進まない
 →意識の高い理事長へのトツプインタビューと評価制度（ISO静岡市版）

在宅対応 ケアプランや支援計画に初動対応等の位置づけ

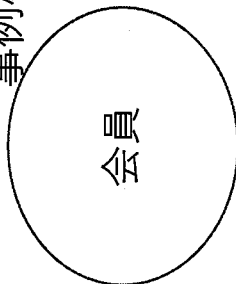


しずおか福祉
BCM研究会

研修

ケアマネ協会

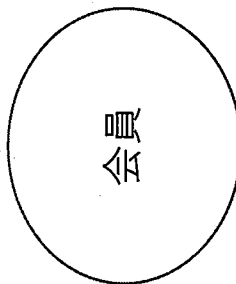
↓
各地域の
事例検討会



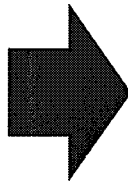
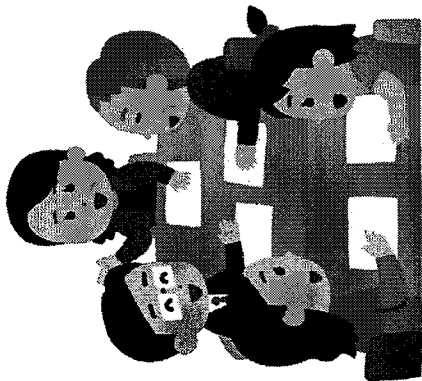
研修

障害者協会

↓ 研修会等



1～2年に1回の会議の中で話し合う



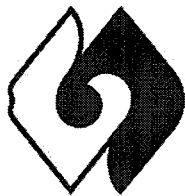
ケアプラン
支援計画

緊急連絡先
避難先
避難誘導者
その他

プランに位置付ける

しずおか福祉BCM研究会の報告会にて事例報告2例

専門家派遣



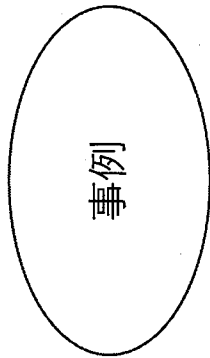
2年目

地震～風水害

しずおか福祉
BCM研究会



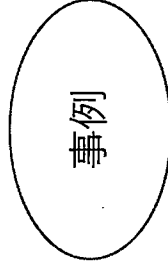
7～15事業所



1事業所3万円
全額補助(7事業所)
もしくは半額補助
(15事業所)

3年目

地震～風水害



しずおか福祉
BCM研究会



専門家育成(25人)



50～100事業所へ
派遣できる体制

育成費用
研修3回(10万円)

派遣費用
実費もしくは半額補助
※予算化必須

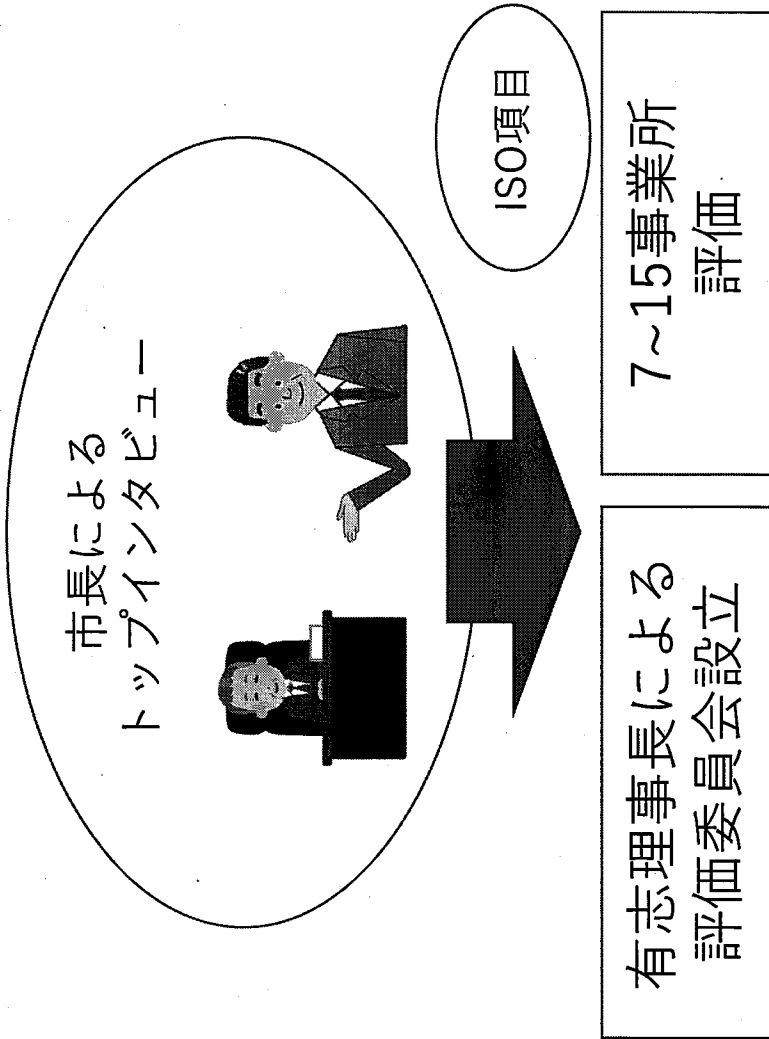
フォローアップ

トップコミットと静岡市版ISO22301評価制度



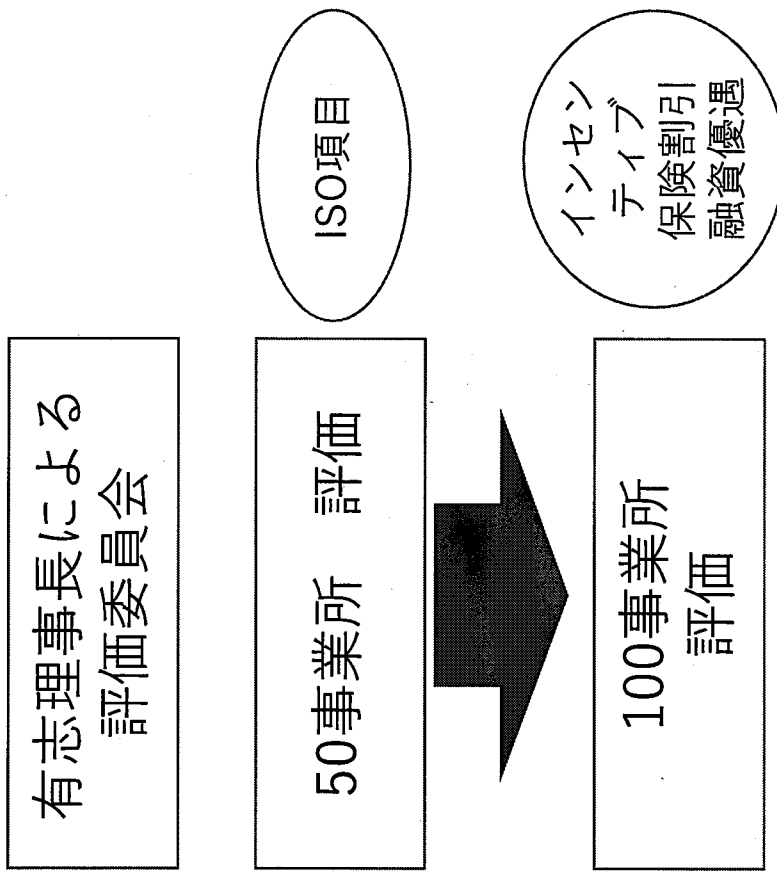
しずおか福祉
BCM研究会

2 年目



1 事業所 3 万円 全額補助 (7 事業所)
もしくは半額補助 (15 事業所)

3 年目



評価費用
実費もしくは半額補助※予算化必須